



一般質問

市民の声を市政に

(文責は、各質問者)

一般質問に25人が登壇

政権交代に伴う 春日部市への影響について



中川 朗
議員

新政権による予算編成方針は、子ども手当実現のため、短時間で多くの事業の削減・廃止を簡単に決めている、賛否の分かれるところです。

当市の平成21年度補正予算は、多くの国の補正予算に伴う財源で措置されていますが、事業仕分けの影響で執行停止などが出ないよう希望します。影響があると考え、地方交付税交付金の東埼玉道路建設促進及び春日部駅付近連続立体交差事業や、まちづくり交付金を活用している事業の状況について伺います。

○建設部長

東埼玉道路は現在、測量調査を実施中です。しかし、凍結路線候補と報道されたため国に確認したところ、平成22年度概算予算の要求をしていました。また、沿線市町で構成される東埼玉道路建設促進期成同盟会でも、国、県に對し必要性を訴えます。

まちづくり交付金は、地方に移管とされましたが、現時点では当市に影響が出るという情報はありません。

○鉄道高架担当部長

春日部駅付近連続立体交差事業は、事業評価の厳格化やコスト削減、道路構造令の柔軟化等により、予算の見直しを行うとされました。

影響について県へ確認しましたが、現状は影響が出るかどうか確定できないため、今後の動向に注視していきます。

このほか

○商工行政について

○介護用品の有効活用

豊春地区公民館のお風呂の長期休止について



秋山 文和
議員

豊春地区公民館のお風呂は、建設から21年が経過して、今年10月に壊れてしまい、年度末まで再開ができない事態となりました。

利用者数を確認したところ、平成20年度は1万6000人で、幸楽荘を超え、薬師沼憩いの家に匹敵します。

修理するための休止はやむを得ませんが、その間の臨時の措置として、幸楽荘や寿楽荘、大池・薬師沼の憩いの家へのバスの運行を計画していただけないか伺います。

○福祉健康部長

豊春地区公民館以外で入浴設備のある施設は、幸楽荘、寿楽荘、大池・薬師沼憩いの家の4館があり、29人乗りのバス2台を活用して、幸楽荘、寿楽荘は月6回、大池・薬師沼憩いの家は月2回、市内各地を循環しています。

ほかにも、施設の団体利用の際に、任意の場所から送迎を行っています。第1週、第3週の水曜日、第2週、第4週の金曜日は運行しない日としているため、この日に豊春地区公民館からの臨時運行が可能と考えています。

なお、運行する施設は、年齢要件がなく豊春地区公民館からの移動時間も短い、大池憩いの家が最も適切と考え、1月から3月までの3カ月間に、週1回の運行を検討していきます。

このほか

○庄和図書館の入札・発注

○新・緊急財政健全化計画について

今後の市政運営について



会田 幸一
議員

石川市長は6月定例会の中で、次期市長選挙に出馬する意思があるのかという私の質問に対し、「子育て支援事業などについては一定の成果を挙げてきた自負はありますが、計画段階や着手したばかりの事業も数多くあります。これらの事業は私の責任で完成させ、市民の皆様の要望に応えることこそ、私に与えられた使命であると確信し、心新たな決意と覚悟をもって出馬することを決意しました」と表明され、見事当選されました。今回の選挙結果は、多くの市民の皆様が石川市長の4年間の実績を評価し、今後の市政発展への期待を込めて1票を投じていただけたものではないかと思えます。そこで、石川市長は今回の選挙結果をどのように受け止めているのか。また、出馬表明をした時点で考えていた2期目の市政運営に対する基本的な考え方や姿勢を変える点があるのか伺います。

○市長
今回の選挙結果は、市民の皆様から4年間の実績を「おおむね良し」と評価していただけた結果ではないかと思えます。今後も基本姿勢を変えないことなく、これまで以上に現場主義を徹底し、きめ細かく市民の皆様の生の声を市政に反映するという姿勢で、市政運営をしていきたいと考えています。

このほか
○（仮称）まちづくり条例の創設に向けて

市営住宅のバリアフリー化について



富樫 清年
議員

現在、市内には木造平屋建てなどの市営住宅が12カ所あります。これらの住宅は、昭和30年代初期から平成5年までの、さまざまな時代に建てられたものです。住宅の中には、地盤沈下により、玄関の入り口等に段差が生じ、高齢者や障がい者が住みにくくな

っているものもあります。

庄和地域の新宿新田などにある簡易耐火構造の2階建て住宅は、非常に狭いスペースに階段が設置されているため、階段を上り下りすることが非常に危険となっています。今年だけでも、階段を踏み外してけがをした人が何人もおり、若い人たちの中でも、この階段はとても怖いと言っている人がいます。高齢者や障がい者にとっては、非常に危険な階段となっているのです。

そこで、これらの住宅の階段に手すりを付けることができないものか伺います。

都市整備部長

建設当初から、これらの住宅には手すりがありません。階段の傾斜も、やや急であると認識しています。

今後は、入居者の高齢化等に伴い、手すりの必要性が、より高まってくると思われるので、高齢者や障がい者等の入居者の安全確保や不安解消が図れるよう、階段の手すりを段階的に整備していきたいと考えています。

このほか

○消火器の安全対策について
○南桜井駅北口駅前及び道路整備について

藤塚橋交差点を一体的交差点にすべき提案



阿部 喜一
議員

国道4号線の下り線から藤塚橋交差点を右折し、藤塚・豊野方面に向かう場合、右折車に対して何の信号もなく危険極まりない。国道4号線の信号が赤になり、当然藤塚橋からの信号が青になり、直進車の前を右折する。しかも、この交差点は一ノ割駅への通勤あるいは通学路でもあり、一ノ割駅に通じる市道6―125号線、備後東に通じる市道2―20号線、藤塚橋に通じる市道1―10号線、この変則5差路をスクランブル、または一体的交差点に改良することを重大事故の発生前に提案します。

市民部長

藤塚橋交差点は、北に一の割駅入口交差点、南に市道2―20号線が隣接しており、また交通量が多く、慢性的に渋滞しています。

東京方面から来ると、信号機に右折の矢印信号がなく、

上り車線の混雑もあり、非常に右折が困難です。このため、信号機が赤に変わっても右折車両が進出し、非常に危険です。この交差点の右折の矢印信号の設置については、以前から要望書をいただいで、窓口となる警察署に提出しています。市としても、現地調査をして強く要望していきます。

このほか

○豊野地区の諸問題
○県道春日部松伏線、永沼橋入り口交差点にある案内板を見やすく

○銚子口橋架橋の今後の推移及び考え方及び架橋時期



藤塚橋交差点付近

東武鉄道高架事業を推進して 春日部市のさらなる発展を



石川 勝也
議員

市計画事業の着手に向けて準備を進めています。計画内容は、現在、県が鉄道事業者と共に事業費の縮減と事業期間を短縮するため、工事方法等の見直しを行っており、事業費については精査中です。

春日部市のさらなる発展と市街地の交通渋滞解消のために東武鉄道高架事業促進について伺います。鉄道高架促進事業については埼玉県や国土交通省にご協力をいただきながら取り組んできたわけですが、国土交通省の新しい要綱の目的に、都市における道路と鉄道の連続立体交差化に関し、事業の施行方法とともに事業費負担割合など必要な事項を定めることにより、連続立体交差化を促進して都市交通の安全性の向上と円滑化を図り、都市の健全なる発展に寄与するとあります。

また、負担割合は鉄道事業者の負担が全体の約10%、国が約45%です。残りの約45%を県と市で負担しますが、その負担割合は現在協議中です。

このほか

- 一級河川古利根川の環境改善対策について
- 高齢化社会の対応とシルバ―人材センターについて

市長マニフェストの中から



山崎 進
議員

武里内牧線と国道4号線を結ぶ大場大枝線（県道野田岩槻線の一部）は昭和39年に計画されましたが、数年前からようやく動き出した事業です。

この事業が完成すると、武里駅南側の踏切等の渋滞が解消するため、一日も早い整備が望まれています。土地の買収も地域の地権者の協力で28%まで進んでいると聞いていますが、この事業は計画通りに進んでいるのか伺います。

また、石川市長は日本一子育てしやすいまちの推進と商都の復活により、人が集う元気なまちづくりを公約にしてくださいましたが、商都復活のために、これまでどのような事業を行ってきたのか伺います。

建設部長

埼玉県によると、平成20年度末現在の進捗率は、約28%と聞いています。

完成予定については、用地の取得状況を見ながら引き続き

き県と連携を図り、早期の完成を目指し事業を推進していきたいと考えています。

市長

本市の商都復活に向け、この4年の間に産業振興や商店街の活性化など、さまざまな取り組みを行ってまいりました。今後も困難な財政状況ではありますが、これまで進めてきた諸施策を継続しつつ、市民の皆様が幸せに暮らせる商都の復活を目指し、諸施策を推進してまいります。

このほか

○下水道事業について

○財政について

女性特有の がん対策について



五十嵐みどり
議員

国では女性特有のがんである乳がん、子宮頸がん検診のため、定められた年齢の女性に無料で受診できるクーポン券の配布を決め、春日部市は県内でも早い段階で、この事業がスタートしました。平成19年度の春日部市の受診率は、乳がん検診8・7%、子宮が

ん検診10・4%です。対象者すべてが受診するための対策として、ポスターやチラシを置いたり、回覧板を回したり、安心安全メールを利用するなど、検診の大切さを知らせる方策を実施していただきたいが、市の考えを伺います。

また、集団検診となっている乳がん検診ですが、県内の自治体では、病院で行う個別検診との併用が実施され好評です。個別の乳がん検診にも補助ができないか伺います。

健康保険担当部長

受診者数が少ないことから、さらなる周知が必要であると考えています。提案いただいた方法なども含めて、今後、できるだけ多くの対象者に受診していただけるよう努力したいと考えます。

また、個別の乳がん検診の補助ですが、個別乳がん検診を実施できるマンモグラフィを整備した医療機関が、市内に5医療機関しかないことから、個別検診への補助については医師会と十分な調整等が必要であると考えています。

このほか

○乳幼児・高齢者のためのワクチン接種の公費助成を

○脳検診の受診に公費助成を

居宅介護の際の住宅修繕費用
及び介護用品購入費用を
受領委任払い制度に



山原 信司 議員

家で介護をする際に、利用者及びその家族の負担を軽くするために、家の中に手すりをつけるなどの改修費に対して、春日部市は償還払い制度を用いており、一時的に多額の現金を支払わなければなりません。

高齢化が進む中で、介護サービスを受ける利用者也急増しており、越谷、草加、吉川、川口市などのように、春日部市でも受領委任払い制度を導入すべきではないでしょうか。そこで、受領委任払い制度の導入について伺います。

○健康保険担当部長

本市においては、介護保険給付制度の手続き方法である「領収書を添付して償還払いを行う」ことを原則として、保険給付を行っています。しかし、償還払いが原則であるものの、要介護者が一時的にまとまった費用が必要となり、日常生活への自立の妨げ

や介護負担が大きくなるのではないかと考えられます。

このようなことから、費用負担の大きい住宅改修の受領委任払い制度について、既に実施している近隣市の状況等を参考にしながら、来年度に向けて導入できるよう準備を進めたいと考えています。

このほか

- パークゴルフ場の設置及び多目的広場の設置を
- AEDのバッテリーメンテナンス等、稼働確認対策
- 交通安全対策について
- ワンストップサービスと自動交付機の増設について

デイケア施設の工賃収入を増やす努力を



福田 晃子 議員

障がい者が生きていく上で不可欠な福祉サービスや医療に、負担を求めること自体が福祉の理念に反します。障害者自立支援法の廃止と、憲法や国連障害者権利条約に基づく総合的な福祉法制の確立を急げと国に働き掛けるべきと考えますが、見解を求めます。

また、市内には公立の心身障害者地域デイケア施設が4施設あります。社会参加に必要な自立訓練、生活訓練及び授産活動の場を提供する施設です。施設の充実のため、次の4点を提案します。

- ① 特別支援学校で習得した技術が生かされるよう自主製品の製作や、工賃収入を増やす努力。
- ② 販売活動の充実。
- ③ 福祉イベントの宣伝の充実。
- ④ 継続した指導、行き届いた指導を行うために正規職員を増やす等、職員体制の充実。

○福祉健康部長

通所者個々の作業能力等を十分発揮できるような自主製品製作の指導に努めるとともに、販売ルート等の開拓を行い、安定した工賃の確保ができるよう努力します。イベントの周知は、市のホームページや広報等への掲載を含め方法を検討します。職員体制は

県要綱の基準を満たしており、さらに施設状況に応じて臨時職員を加配しています。

○市長

障害者自立支援法については、国の動向を注視していきたいと考えています。

このほか

○敬老会の充実を

東中野にある一般廃棄物
最終処分場の今後について



川鍋 秀雄 議員

最終処分場の整備に際して、当時の埼玉清掃組合と地元区・自治会とで協定書が締結され、跡地利用として地域還元施設を設置することが盛り込まれていると伺っています。

その後、財政状況の悪化等の理由により、進展がなく、平成20年に東中野埋立地連絡協議会長から地域還元施設に関する要望書が提出され、具体化に向けて協議が行われていますが、市はどのように考えているのか伺います。

また、市長として、今後対応策をどのように考えているのか伺います。

○環境経済部長

住民の要望施設である地域還元施設については、現在まで建設には至っていません。

地域還元施設の素案などを東中野埋立地連絡協議会で検討し、他の地域の住民にも理解が得られる施設として協議を進めています。

今後は、引き続き東中野埋立地連絡協議会と協議を重ね、計画の具体化に向けて鋭意努力したいと考えています。

○市長

東中野地内の一般廃棄物最終処分場に係る地域還元施設の整備については、当時の状況や、これまでの経緯を十分踏まえつつ、できる限り早期に対応していきたいと考えています。

このほか

- コミュニティバス(春バス)の運行状況と今後の課題
- 庄和総合支所のさらなる活用について



一般廃棄物最終処分場(東中野)